

# 24日に夕張映画祭

## 上映やトークショーなど



「夕張映画祭2010」が7月24日正午からホテルニューパロで開かれる。実行委 高橋秀蘭委員長が主催、LMHと夕張映画社が企画・制作する。

夕張映画祭は、「学生映画の甲子園」のキャッチフレーズで日本サークル連盟(JCE)が主催し、「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」の10周年特別協賛企画として始まり、第1回から第3回まで続き、その概要を説明する下田プロデューサー(中央)

後、沖縄県や東京などで開催された「JCF学生映画国際映画祭」の流れをくむ。財政破綻した夕張を支援する狙いで「JCF映画祭」のOBと学生有志らが2007年2月に「夕張国際学生映画祭2007」を開き、その翌年にはNPO法人ゆうばり観光協会との共催で「2008」も実施したが、昨年は休止した。丁度、10回目に当たる今回は、学生という枠を越え、「夕張映画祭」に名称変更。地域活性化を目指した「YUBAR IWOOD」(夕張ハリウッド構想)の実現を合言葉に、これまでの冬から夕張メロンの旬の7月に開催日を変えた。当日は開会式の後、「地域を元気にする映画特集!」と銘打ち、水戸市市制120周年記念公開作品「ピバ!カッペ」

(植田尚監督)と「最高でタメな男 筑地編」(内田基裕・藤橋敏監督)の招待作2本を上映するほか、インディーズ音楽バンドなど3グループのスペシャルライブもある。また特別招待作「サ・コード・暗号」(林海象監督、尾上菊之助、稲森いずみ、安戸錠ら出演)の上映の後、元吉本興業常務でフリープロデューサーの木村政雄さんと映画プロデューサー大和田広樹さんによるトークショー「映画・エンタテイメントコンテツによる地域の活性化」がある。すべて入場無料。7日にホテルニューパロで開かれた記者会見で同映画祭の下田泰也プロデューサーが開催の概要を説明した。問い合わせは03・5410・0664(分デュー)へ。